



得する面白い役に立つ福祉情報玉手箱



楽しく学んでイキイキ暮らそう！

御殿場市民交流センター「ふじざくら」自主事業
「御殿場探訪」講座 受講生募集

御殿場市の歴史や文化財、先人の業績地を訪ね歩きながら学習するとともに、健康づくりと仲間づくりをはかりませんか。

日程 5月12日(水)から11月10日(水)までの毎月1回(第2水曜日・8月は除く)

10時～15時30分

対象者 市内在住の60歳以上の方

募集人員 30名(先着順)

参加料 全6回で1,000円

申込み 4月2日(金)

午前9時から窓口で受付開始

電話の場合は午後1時から受付

☎70・6800まで。

締め切り 4月16日(金)

お問合せ先 〒412・0042

市内萩原988・1

御殿場市民交流センター「ふじざくら」

☎70・6800



「社協だより」が通算200号をかぞえました！

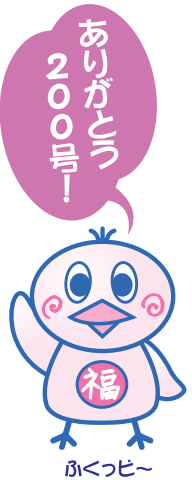
「ごてんば社協だより」創刊号が発行されたのは、今から約27年前の昭和58年6月20日でした。当時の社協の年間総事業予算は約3千5百万円。現在の約10分の1でしたから隔世の感があります。

平成10年からは、毎月の発行となり、市内の地域の福祉活動や学校の福祉教育の取り組みなどホットな情報をお伝えしています。

また、読みやすい紙面づくりのために、市民から公募した「広報委員」の皆様は紙面についてのご意見を伺い、時には取材記事もお寄せいただいています。

「社協だより」のバックナンバーを見ますと、市内全域の小地域福祉活動、「ふれあいいきいきサロン」活動の推進や、市内小・中・高等学校、特別支援学校での福祉教育の推進、介護保険事業の実施、ボランティア活動の支援など事業の幅が広がっているのがよくわかります。

今後も市民の皆様から、社協の事業と社協だよりの紙面について、ご意見をいただければ幸いです。



編集後記

春は名のみとはいふものの野山にふきのとう、つくしなどが顔を出し、桜の季節もすぐそこまでやってきました。

先日取材に訪れた東山に昨秋オーブンした旧岸邸で、羽子板遊びに使う羽根に付いている黒い玉を見つけました。それはこの庭にあるムクロジという落葉高木の種子です。従来、御殿場は観光客が富士山を眺め通過する所でしたが、秩父宮記念公園、旧岸邸の誕生は、郷土の誇りであり、観光客や市民の憩いの場となるでしょう。

「ひだまり」の紙面を通して福祉の増進、市民皆がより幸福になるよう、200号を機に更に充実した内容の編集に努めるべく心を新たにしました。

社協だより「ひだまり」

広報委員一同